

K S K R

NO. 17 パンジーだより



発行 1996年7月

編集 クリエイトハウス

“パンジー”

山本 雄介

## つばさグループ10周年

8年分の『つばさ通信』を読み返しました。「つばさ」はパンジーが法人になる前の作業所の名前で、現在は「つばさグループ」として、「パンジー」と「フレンズ」と「ラン」があります。通信からは“障害者が地域であたりまえに生活し、だれもが安心して暮らせる社会を作ろう！”という熱い思いが伝わってきました。その思いは現在もパンジーに脈々と受け継がれています。

4月からパンジーは「外へ出る」ことを目標にしてきました。パンの販路拡大、チラシ配り、畑仕事、そして5月からはじめたスーパーカナエの店頭販売と、仕事の場が確実に広がってきています。しかし、ちょっとずつみんなに欲求不満がたまってきているようです。売り上げにつながらないこと、いつまでも「『施設』パンジーのNさん」であること、過大でもなく過小でもない自分の能力に見合った仕事をしていないことなどがあるのかな、と考えています。

6月にアメリカで開催された「カリフォルニア州セルフアドボカシー会議」に参加した4人が「JOBクラブ」という所を見てきました。これは知的障害を持つ人が、JOBコーチと呼ばれる人の支援を受けながら一般企業やお店で働くことを進めている非営利団体です。車が好きで車のカタログをいつも持ち歩いているSくんはガソリンスタンドへ。決められたことをきっちりこなすYくんにはどんな仕事が合うだろうか、ワープロのうまいAくんは？好きな仕事を通して確実に社会とつながる「JOBクラブ」は学ぶことが多く、これからパンジーでは就労支援に積極的に取り組みたいと考えています。

つばさグループは今年で10周年を迎えます。パンジーはこれからもどんどん変わり続けますが、目標は同じです。「障害者が地域であたりまえに生きていくために」。10月9日(水)に、永六輔さんと、ロックバンド“シャンテ”を招いて、つばさグループ10周年記念イベントをします。つばさグループへの支援をかねて、ぜひみなさん来てください。障害者も健常者も安心して生きられる社会について、ともに考えていきましょう。(吉田)

## パン部門だより

こんにちは、パン部門です。暑い夏がまだまだ続きそうな昨今、皆様どうお過ごしでしょうか。

4月からがらりと気分も一新、新しいメンバー構成になって、もう4ヶ月になろうとしています。職員も含めて、まったくパンをさわったことのない人、久しぶりにパン部門に戻ってきた人、あいかわらずパン部門でがんばっている人、みんながみんな、ある種のとまどいを感じながらもパン部門にとけ込み、自信を持って、作業の流れのなかで、自身をアピールすることが出来るようになってきました。

理想としてパン部門では、いろんな作業をメンバーに手渡していきたいと考えています。ところが、職員とメンバーとの関わり合いが不十分であったり、簡単な確認事項が抜けたりで、不揃いな製品や、味の違う製品を届けたりと、大変なご迷惑をおかけしました。以後、このようなことがないように、皆でがんばっていきますので、これからもよろしくおねがいします。

(吉竹)

## クリエイティブルームより

雨のよく降る時期も過ぎ、抜けるような青い空と照りつける太陽が「夏やでー」と言っているようです。本来ならば「ワーイ！」と浮かれたいこのシーズンですが、ただ今メンバーの給料が超深刻な状態……。この現状をなんとかせねばと先日、学校の先生たちの集会に一声あげに行きました。

「ぼくら給料6000円ではやっていかれへんから、先生たちパンを買ってください！」マイクを握って大きく訴えたのは、営業チームのリーダーN君。ここというときに決める人です。一緒に行ったMさんも得意の原稿を書いて読み上げ、協力をお願いしました。この声が届いたのでしょう、今あちらこちらから注文が来ています。「どンドン外へ出よう」という春からの計画を実行していくこと。そして商品作りにも精を出してメンバーが地域の中へ出かける所を拡げていきます。

これからもどうぞよろしくお願いたします。

(につしゅん)



自立生活センター「わくわく」  
うばわれた経験の取り戻しや、  
社会性の学びの機会として

自立生活センター「わくわく」が始まり2年目になります。

現在の活動の中心は、ガイドヘルパー活動ですが、このガイドヘルパー活動を含む「わくわく」を、どう位置づけ、どう展開していくのかが今後の課題です。

ガイドヘルパー活動のなかで気づいたことは、パンジーのメンバーの多くが、本来は、普通に生活する中で身につける生活技術を、獲得できずにきたであろうことです。それは、いま生きている生活圏が非常に狭く、あまりに経験が少なすぎるからだと思えますが、そのような中でガイドヘルパーを利用した外出活動の意味が大きく出てきます。映画を見に行く、カラオケにグループでいくなど、一見だだの遊びであったり、ぜいたくだけのように見られますが、その中に内在するものとして、本来友達などとの遊び、つまり人との関わりのなかで得られる、うばわれた経験の取り戻しや、社会性の学びの機会としてメンバーにどんどん利用してもらいたいと思います。ヘルパーには、そのようなメンバーの学びの可能性の保障として認識して活動してもらいたいと思います。(大北)



今後の予定

<p>8月3日(土) ガイドヘルパー外出活動</p>	<p>8月24日(土) パンジー夏祭り</p>
<p>ガイドヘルパー募集! 知的障害を持つ人といっしょに出かけませんか。すてきな時間とともにすごしましょう。 興味のある方は「わくわく」まで 電話 0729-63-8818</p>	<p>ボランティア募集! 夏の夜、メンバーや地域の人たちとともに夏祭りをたのしみませんか! 興味のある方は「パンジー」まで 電話 0729-63-8818</p>

## 『ザッ・体験宿泊』

去年は、パンジーの2階で体験宿泊をしていたが今年に入ってから、グループホームに移った。パンジーでは、体験宿泊者と介護者の2人だけだったので宿泊者がさびしい思いをする場面や、介護される緊張感を感じているのが伝わってきたりしたけれども、つばさでは2人でないぶんいいのか悪いのかそれらはやわらいでいるように思う。

ところで、私から見たつばさでの体験宿泊者の表情を記してみた。

- M君 ハンバーグの具をみんなグチャグチャになりながらこねているのを見つけるといつの間にかスーッと寄ってきてのぞき込む。スルドイ。私がドジやってる時も結構うけてくれて嬉しい。
- N君 来るとすぐにお出かけ。いい意味での遊び人。現在、瓢箪山にこっている。
- O君 とにかく阪神タイガース。お風呂より阪神タイガース。寝るのが遅くなるので延長戦はやめてほしい。タイガースきっちり決めてくれ!
- K君 来るとすぐにお風呂。つばさに似合わず? 大のお風呂好き。ニックネームは「ぜにがたへいじ」。
- A君 書くことが色々あって迷う。う〜ん。ギャグのセンスしゃべり方が私には、ここちいい。自称「安達祐っ子さん」「バヤリース」など。 (伊藤)

## 「あゆむ」日記

麻窪 みどり

女性のグループホームができてとてもうれしかったです。もっと女性がふえてきたらもっと、いまいじょうに、にぎやかになるかもしれないけど。

さいしょのときはグループホームのなまえを、どうつけたらいいか、おもいうかばなかったけど、なんで「あゆむ」にしたかということ、パンジーのみんなにいつぱいあゆんでほしいからでもある。そしてもっといろんなひとにやさしくなってくれることを祈ってつけたのである。自立をするってゆうことは親からはなれるってゆうこともあるけど、できることは自分でやりとげることである。でも、こまったときはだれかにできるかぎりのことはそうだんする。

これからもいろんなことがあるかもしれないけど、福田さんとか富田さんとかに、生活ひとかいろんなことをおしえたり、いろんなことをおたがいにたすけあったりしたい。できれば、心のやさしいひとがふえていったら、私達がたとえば、しょうがいをもっていったってそれはかんげいない。

## ショップ・パンジー

## こんなユニークなお店、ちょっとそこらにありません

「うわー、思っていたよりずっとかわいいお店」、訪れた人たちは、みなそう言います。「すてきなお店ですね」、お客さんにショップにあるメンバーがつくった商品の説明をすると、必ずそう言います。「なんで、こんなに安いのか?」、別のお客さんはリサイクルの衣類を見てはびっくりします。そうなんです。こんなユニークなお店、ちょっとそこらにはありません。

メンバーもコーヒーを入れるのがうまくなってきました。メンバーの入れるコーヒーは、とてもいねいでおいしいですよ。「きょうのはちょっと濃いよ」とお客さんも気軽に声をかけてくれます。

掃除、出前、買い物、両替、計算、ポスター書きと、その人、その人の得意なことをいっぱい見つけて、どんどんできることを増やしていています。「ノー」もはっきり出て、そんなときはこでも動きません。自分らしさを出せる、ショップ「パンジー」です。(岩田)



## 厨房のカウンターから

テレビのスイッチを入れると食中毒の話がニュースされている今日この頃、厨房でも気をつけていて、火を通す食事に心がけています。

野菜を真剣にきざんでいると、カウンターの向こうで起きる様々なハプニング。でも、メンバーさん1人ひとり個性的で、とっても楽しく仕事をしています。12時を待っていたようにやって来る皆が、食卓について満足に食べている様子を見るとほっとします。

空の食器を持ってきて「おいしかった」と一言いってくれるメンバーさん、厨房のお手伝いができてよかったです。(山内)

# どらえもんかいのページ

「どらえもん会」のあたらしいやくいんのしょうかい

ぎちよう 福田直美 (ふくだ・なおみ)

やくいんに「どらえもん会やくいん会があります」としらせる仕事をしています。

こうえん(講演)に行つて西村さんがとつてくれたパンジーのビデオを、みんなでみました。ショップパンジーへコーヒーのみに来てくださいね。



ぎちよう 清水一男 (しみず・かずお)

りょこうのはなしをしている。どらえもん会のたてかんをつくりたい。どらえもん会できめよう！ぼくたちは、やっぱりおやかたになりたい。

ふくぎちよう

梅原義教 (うめはら・よしのり)

まあ、ふつうにやっています。これから、学校のみんなどかパンジーのことをわからんやろ。どら役会で学校とかへ行ったらいい。これからしごととか、でかけることとかもときめたらいい。みんなおもしろ



ふくぎちよう 麻窪みどり (あさくぼ・みどり)

やくいん会では、今りょこうのはなしをしている。やくいんをきめている。やくいんになってまだなれてないところがある。今しごとがすくないやん！みんなではなしあつて、どんなしごとがしたいかきめていったらいい。しごとらしいしごとがしたい。

パンジーだよりにグループホームのこととかいろいろかいてきたけど、そのかんそうがききたい。

しよき 肌勢俊一 (はだせ・としかず)

どらえもん会をどうやっていったらいいか1人1人はつげんをしていって、いうていく。やくいんにまだなれてないひとはそのままがいいが、らいねんの6がつのことや、人をなんにんぐらいあつめてやっていったらいいか、けいかくしてやっていってほしい。

**しょき 平川智彦（ひらかわ・ともひこ）**

やくいんかいはおもしろいです。カラオケにいったりするのがすきです。がんばります。

**たぬき（かいぎをもりあげたり、はつげんするひとをおうえんするやく）  
五十嵐千佳（いがらし・ちか）**

たぬきです。うれしいです。またみんなであつまってやりたいとおもいます。

**たぬき 生田 進（いくた・すすむ）**

今は、けいきがわるいから、パンの売れゆきがわるいから、みんなでがんばって、あたらしいしょうひんをいれる。それを、どらえもん会ではなしましょ！どうしても、きゅうりょうをあげたかったら、よそからしなものをしいれてきて、売ることかかんがえなあかん。カップヌードルを売るか、ビールを売るか、ジュースを売るかしないと、こんだけの人にわたすきゅうりょうがあらへん。きゅうりょうが、1まんえんにあがったらええんちゃうか。

**たぬき 西田 隆行（にしだ・たかゆき）**

みんなのはなし、おかねのはなし、ひこうきのはなし、バスのはなし。やくいんはおもしろい。

いぬのはなし、もりくんのはなし、よっちゃんのはなし、うめちゃんのはなし。やくいんがんばる。

**パンジーりょこうは、「ながさきハウステンボス」**

このりょこうは「どらえもん会」できめた。ふねとか、しんかんせんとか、ひこうきとか、バスとかいっぱいでて、みんながひこうきでいきたいというたので、ひこうきでいくことをきめた。やまとか、ゆうえんちとか、川とか、おんせんとかいっぱいだ（ややこしいな）。みんながいききたいところは、おんせんとゆうえんちばっかりだった。

ひこうきにのって、おんせんとゆうえんちにいきたいと決めた。りょこうのおっちゃんに「これで！」というて、おっちゃんが「ながさきのハウステンボスでどうですか」というて、ぼくらは「オーケイ」というた。やっぱり、あかるくたのしくいきたいな！

（パンジーりょこうじっこういいんかい うめはら よしのり）



★ 1996年新人紹介 ★

田村 崇 (たむら・たかし) 1978年2月24日 B型



「赤いくつはいてた」っていう歌をうたっている。2ばん目までうたう。田村くんはいつも帰るときマラソンをして帰る。

BY 富田

仕事をするのがとても早く、楽しそうにパン作りをしています。力も強いので、パンの配達や重い物を運ぶときに大活躍です。また、西岡さんと二人でパン生地地に卵をぬる作業がとても速く、パン作りが早くできるので、とても助かっています。 BY 竹内

山本雄介 (やまもと・ゆうすけ) 1978年1月8日 A型



体が大きい。とても絵がうまい。毎日なんか書いている。

BY 梅原

体を動かすことがとても楽しそうに見える。畑に行ったら、いつもどろだらけになって帰ってくるわい。

BY 生田

お絵かきが好きな山本雄介くん。「長崎屋とか書いて」て言ってくる山本雄介くん。

BY 平石

「うおー」て大声張り上げたりする。

BY 肌勢

竹内一真 (たけうち・かずまさ) 1973年11月28日 生 A型



性格はとても温厚です。パンジーは1年前からちょくちょく来て、4月にパンジーに就職するときは、とてもスムーズにうちとけることができました。今のパンジーでの仕事はメンバーさんと一緒にパンを作ったり、配達に行っています。毎日がとても充実しています。失敗をたくさんして一つずつ勉強しています。がんばりますのでよろしくおねがいします。

池内岳人 (いけうち・たけと) 1968年11月8日 生 B型



いつまでも新人気分ではいけないと焦る毎日ですが、とにかくがんばろうと思っている今日この頃です。パンジーでは、自分らしさが出ていると思っていますが、時々ハメをはずしすぎてるとなあと反省する毎日でもあります。

趣味：ギター、けん玉、マラソンなど多数



パンジーにかかわる人々

1人ひとりのパンジータイムが、  
充実したものであるように

中新井滯子

「はじめまして、中新井滯子と申します。縁あって週1回パンジーで一緒するようになりました。どうぞよろしくお願いします。」と、こんな具合に一度自己紹介をしなければと思いながら、ズルズルともう2か月も経ちました。個々にはあいさつしているものの、メンバーの皆さんはきっと突然顔を出したこのオバサンは何者ぞと思っていたのではないかしら。ところがうれしいことに、少し警戒的な数人（これで当たり前なのですが）以外は、もうずっとパンジーのスタッフであったかのように普通に接してくれています。パンジーはその建物と同様に外部の人に対しても非常にオープンでいろんな人が出入りしているせいでしょうか。おかげで私は一番新米のくせに、大きな顔をして好きなことをさせてもらっています。

成人の施設での経験はありませんが、大阪府中央児童相談所、ポニーの学校、東大阪市療育センターでの仕事を通して子ども達とのつき合いは長いので、パンジーの中にも顔なじみがいます。もっとも彼らがまだ3歳～5歳ぐらいのときだったから当時のことは覚えていないでしょうが、私にとっては昨日のこのように思い出されます。だからつい「○○ちゃん」なんて昔の口ぐせで呼んでしまったり、偏食で苦勞した子が普通に食べているのを見て感激したりしています。

メンバーの構成は障害の様子も様々で、その中からお互いの助け合い、励まし合いが日常的に行われています。パンジーのオープンで自由なかかわりが、このようすてきな仲間関係を育てているのでしょうか、メンバーの中には一定の枠やパターンがあった方が安心できる人たちもいるようで、彼らにとっては落ち着きにくい場面があるかもしれません。一人ひとりのパンジータイムが充実したものであるように皆で考えていきましょう。

まだまだパンジーの一面しか見ていない私ですが、今はその日、その時の出会いを大切にしていきたいと思っています。

## アメリカピープルファーストツアー報告

6月7日から14日の7泊8日の予定で、カリフォルニア州で開催された「セルフ・アドボカシー会議」と現場の見学ツアーに、パンジーから生田さんをはじめとした4名が参加した。紙面を借りて、簡単な報告をしたいと思う。

制度や資料について、関心を持たれた方はお知らせください。理解した範囲で説明したいと思います。



### ★ 第一回カリフォルニア州セルフ・アドボカシー会議

6月8日から9日の2日間にわたって、2回の基調講演と3つの分科会（1つの分科会が11のセッションで成り立っている）をファシリテーター（支援者）の援助を得ながら当事者の人たちで進行していた。

知的障害者の組織のつくり方をはじめとして、権利の守り方、セックスについて、自分を信じることなど、スライドやビデオ、そしてロールプレイを取り入れた分科会と、ディッピングゲームのあと深夜まで続いたダンスパーティ。

フィナーレは、今年の1月に日本に来たダニエルの「まず、自信を持つこと。そして立ち上がって州全体でわけあって、みんなで目標を達成しよう。差別と人権のために立ち上がろう」という、リズムカルなアジテーションと、みんなで歌った「People First Of California Anthem」(カリフォルニアピープルファーストの歌)。会場全体がパワフルになって、これからもがんばるぞと元気になって肩を抱き合いながら散会した。

楽しかったわ！  
サンキューベリイマッチ

生田 進

サクラメントでピープルファーストの会議があった。アメリカではあちこちにピープルファーストがあって、人が多かった。ぼうしをかぶった人がおって「当事者も勇気をもって立候補しましょう。選挙で投票しましょう」というてた。

デートゲーム、日本人1人ぼくが入った。女の子と合わんで、拍手してわかれた。ダンスに行つて気の合う女の人とおうたわけや。女の子が「ダンスしよう」、ゆうてコーラを飲んで。笑いながら「また踊ってくれ」というて来よつた。楽しかったわ！ サンキューベリイマッチというた。

日本ではないけど、アメリカには家なんかを紹介してくれるサービスがある。それから、当事者が仕事に行つてお金もうけをしている。ロブさんの働いているピザ屋で話を聞いた。大きなバスの会社でバスの中をそうじしている人がおって、リフト車で話を聞いた。54歳で食堂で働いている人の所に見学に行った。わしと同じ年や。休まんと働いていると言つた。えらいわ。



カリフォルニア州発達障害局でサービスおよび組織の概要説明を聞きました。

### ★ビジョン

当事者主体＝パーソンセンターズ  
当事者を中心にしてプログラムを作成し、サービスを提供する。

- ①サービス供給の団体に、当事者や家族に関わってもらって意見を反映する
- ②サービスやサービスの情報資料に関して当事者が意見を言えること
  - ・選択肢があること（選べること）
  - ・人間関係の充実
  - ・自分の好きな生活様式
  - ・安全と健康の維持
  - ・権利
  - ・満足度を確かめる

以上の6つの領域について当事者のしたいことを基本としてサービスを策定する。

- ③当事者が何をどうしたいのか、何を必要としているのかを反映させる機会をつくり、吸い上げる。

なにを優先させるのか、どんなサービスを提供するのか、サービスの質の維持について当事者を主体としてやっていくという、発想の転換が制度及びサービスをより充実させていくものとなる。

### 行政サイドの当事者主体への流れについて 施設から地域へ、そして当事者中心へ

1960年代のはじめに、施設で暮らすことから地域で暮らすことへのシフトがあった。現在は当事者中心へと変わってきている。このような変化の中で、現状維持が一番楽だ、変えたくないという恐れのお気持ちが一番の障害ではないかと考えている。

そして、変えていくには、やる側の発想の転換、やる気、そして実際に動くということが一番のポイントだ。

### 言葉のない人の当事者主体について

どんな障害があろうがなかろうが、コミュニケーションはできると信じている。それには、聞く側の人間が話を聞く訓練を受けなくては行けない。例えば、当事者のジョンさんが笑ってくれるには、私たちが何をすればいいのかと考えることだ。ジョンさんが「こんなのイヤだ」と思っているときに、どう意志表示しているのかを聞く側がつかんでいくことだ。

### 当事者の声を聞く

発達障害局にはマイケル・ロンさんという、当事者が当事者の意見を聞く部局がある。彼が聞いて直接上の人に伝えてくれるから、早く伝えることができ伝わりやすい。

次号ではJOBクラブ、TTSR（知的障害者の自立生活センター）について、報告します。



**書き損じハガキ、切手(未使用)を待っています!** ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力お願いします。

ご協力ありがとうございます

＜後援費を振り込んでいただいた方＞(敬称を略させていただきます)  
墳下 千里 田中 誠 木村多加緒 石崎 邦彦 樫本 寿

＜カンパ・寄付をいただいた方＞  
岩山 直功 栗山 尚子

＜書き損じハガキをお送りいただいた方＞  
畑本 祥江 梅本 ルミ 中新井 滯子 田中 実 平石 満彦  
橋本 明子 横山 郁子 今西 由美 岡田 明美

＜支援金をいただいた方＞  
樫本 寿 竹川 節子

**パンジーの製品を売る所をさがしています**

パンジーの製品を売る場所を探しています。製品はパン・陶芸・さをりハープ製品などです。どこへでも配達・店売りに出かけますので、関心のある方はパンジーまでご連絡ください。記念品や粗品などにも、ぜひご利用ください。

**メンバーが全国へ飛び出すためにカンパをお願いします**

全国の知的障害者が集う会議が各地で行われています。その会議では、自分たちのこと、将来のこと、自立についてなどを話し合います。

現在、旅費、宿泊費はメンバーの個人負担。少しでもメンバーの負担を軽くするためにぜひ、カンパをお願いします。

パンジーでは後援会員を募集しています。

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号		00950-1-300551	

クリエイティブハウス「パンジー」

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8  
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818  
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会  
大阪市城東区東中浜2-10-1-3  
緑橋グリーンハウス1F・7F企画気付

一九九六年五月一日 第三種郵便物認可 毎月十二回(二・四・六・八の日) 領価二五〇円